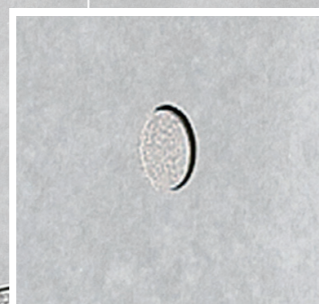


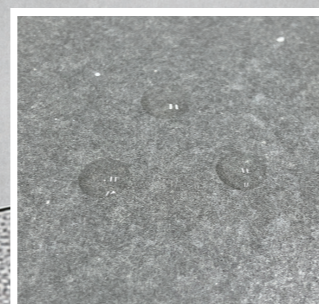
NEXT ISSUE

次号予告

BEoNAに新たな仕様が登場



セバ穴仕様
コンクリート打ち放しの
質感を、より自在に



クリアコートタイプ
撥水・防汚性をもつ
クリアコートタイプを
新シリーズ化

画像は“b3 薄絹 usuginu”のイメージです



株式会社 エーアンドエー マテリアル

本社 (建材事業本部)
〒108-0075
港区港南1-2-70 品川シーズンテラス 27F
電話 03-3458-9370 FAX.03-3458-9362

ホームページ
<https://www.aa-material.co.jp>

エーアンドエーマテリアル

検索

カタログ請求番号 **0010-960**

掲載した内容は当社に許可なく複製・転載をしないでください。
予告なく内容を変更する場合があります。

2026年5月 ©





YADO
TENKU
KYOTO NIJYO

BEoNA Beauty of Nature

コンクリート調の風合い、唯一無二の濃淡

ひとつとして同じものがないランダムな表情は
自然のままの美しさを宿す。

光と陰が織りなす静謐なテクスチャーが空間に、
確かな呼吸をもたらす。

ベオナ
BEoNA®

b1 | 静寂 shijima

静けさを感じさせる優しく落ち着いた表情



b2 | 漣 sazanami

繊細な中にも波の動きをイメージさせる豊かな感性



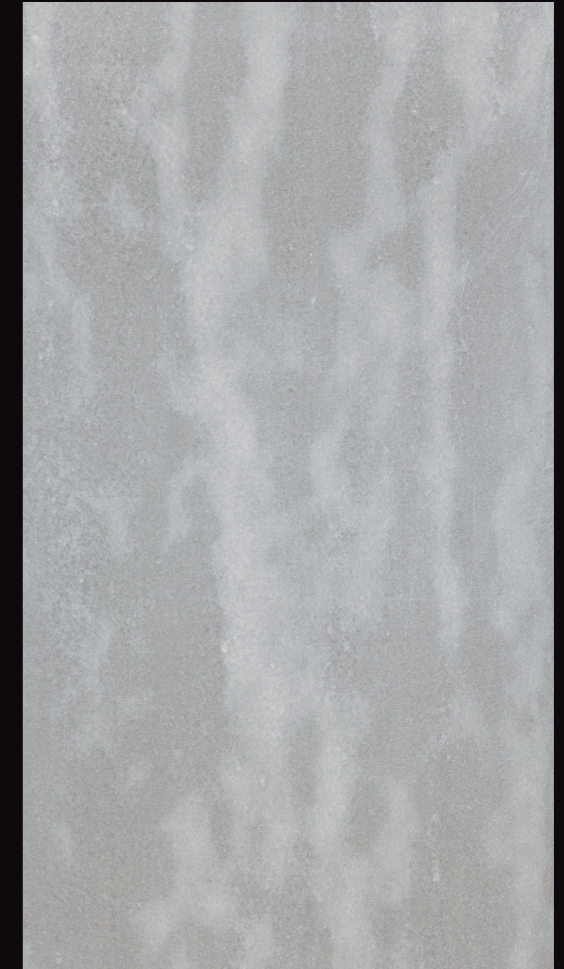
b3 | 薄絹 usuginu

透明感を感じさせる幻想的な美しさ



b4 | 群雲 murakumo

雲の流れを思わせる濃淡のコントラスト



同一照明（ダウンライト 拡散光）での見え方

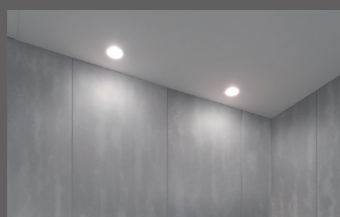
b1



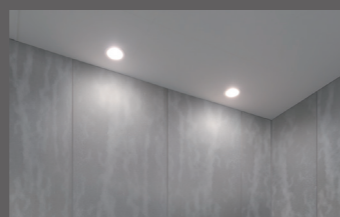
b2



b3



b4



画像はイメージです

01

セメント素材特有の風合い

セメント素材が本来もっていたラフなテクスチャーを見直し、その風合いをメリットとして新たに商品化しました。あえて塗装やコーティングを施さず、一枚も同じ柄のない自然な仕上がりが魅力となっています。

※製品の特性上、白い粒状の濃淡が現れることがありますが、自然な風合いを生かした意匠によるものです。
※上記写真は、各製品1枚(910mm×1,820mm)の柄のイメージです。製品の表情はボード一枚ごとに大きく異なります。

標準規格	一般名称	繊維混入セメント板
	不燃認定番号	NM-5842
	柄の種類	b1 (静寂) b2 (漣) b3 (薄絹) b4 (群雲)
	厚さ (mm)	4
	幅×高さ (mm)	910×1820
	標準質量 (kg/m ²)	6.2

02

高強度で優れた寸法安定性

オートクレーブ養生(高温高圧蒸気養生)により優れた強度と寸法安定性が得られます。歪みが抑えられ、一般的な乾湿が繰り返される環境でも、材料伸縮が小さく優れた製品です。

03

接着張り工法で意匠性向上

内装の接着張りに適した材料で、作業性に優れています。優れた寸法安定性が可能にした接着張りは、ビス頭をなくし、意匠性向上にもつながります。

標準物性	かさ密度 (g/cm ³)	約1.55
	曲げ強さ (N/mm ²)	20.0以上
	吸水による長さ変化率 (%) [タテ]	0.15以下

CASE

01

YADO TENKU Kyoto Nijo

所在地 京都府京都市
用途 ホテル
採用品番 **b1**
静寂 shijima

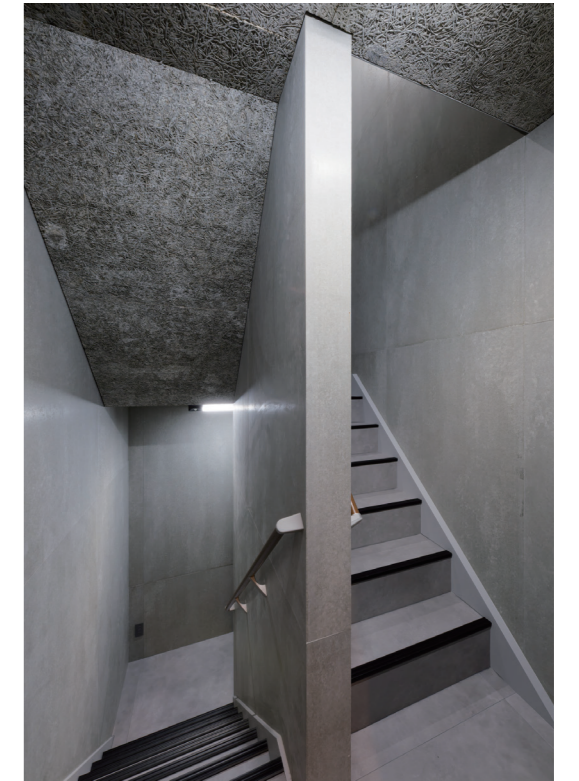
共有部を一つにつなぐ、シームレスな質感

京都・二条の落ち着いた街並みに馴染むようなミニマルなデザインのホテル。
エントランスから階段室、通路に至るまで、グレーの色調で統一された空間構成に。その中で、壁面の質感を決定づけるマテリアルとして「BEoNA(b1)」が採用されている。

接着剤やテープによる簡易な施工性に加え、設計者のこだわりである目地のない「突きつけ」での納まりが、壁面をよりフラットに、ダイナミックに表現。
BEoNA特有のゆらぎのあるグレーの濃淡が、各エリアをつなぎ、空間にリズムと落ち着きを与えている。



エントランス壁面/BEoNAの突きつけによるフラットな仕上がり、空間にダイナミックな広がりをもたらす



階段室壁面/上下階を繋ぐ壁面。複雑な形状が連続する部位だが、BEoNAカット加工性や施工性により一貫した素材感で空間を引き締める



通路壁面/グレーの質感が奥へとつながり、空間にシームレスな一体感を与える

所在地 北海道札幌市
用途 オフィス
採用品番 **b2**
連 sazanami



エントランス周辺壁面/ 木目ドアとBEoNAの調和。自然素材の温かみを、グレーの濃淡が静かに受け止める

黒目地が引き立てる、端正なBEoNAの表情

事務所の移転新築に伴う、エントランスおよび応接エリアの計画。来客を迎え入れる「オフィスの顔」として、落ち着きと高級感の共存が求められた。

壁面に採用された「BEoNA(b2)」は横張りにし、目地には黒のT型ジョイナーを組み合わせることで、素材の揺らぎを活かしつつ、空間をシャープに引き締める意匠としている。

細部まで計算され目地とBEoNAの質感の対比が、オフィスの品格を高め、施主様の満足度も高い、洗練されたエントランスを実現した。



エントランス・ドア付近壁面/ BEoNAがエントランスに奥行きのある表情を生み出す



黒のT型ジョイナーを用いた目地。BEoNAの横張りとの組み合わせで、空間を引き締めた印象に仕上げている

CASE

03

AFTER SCHOOL BREWERY

所在地 東京都世田谷区
 用途 店舗
 採用品番 **b2**
 連 sazanami

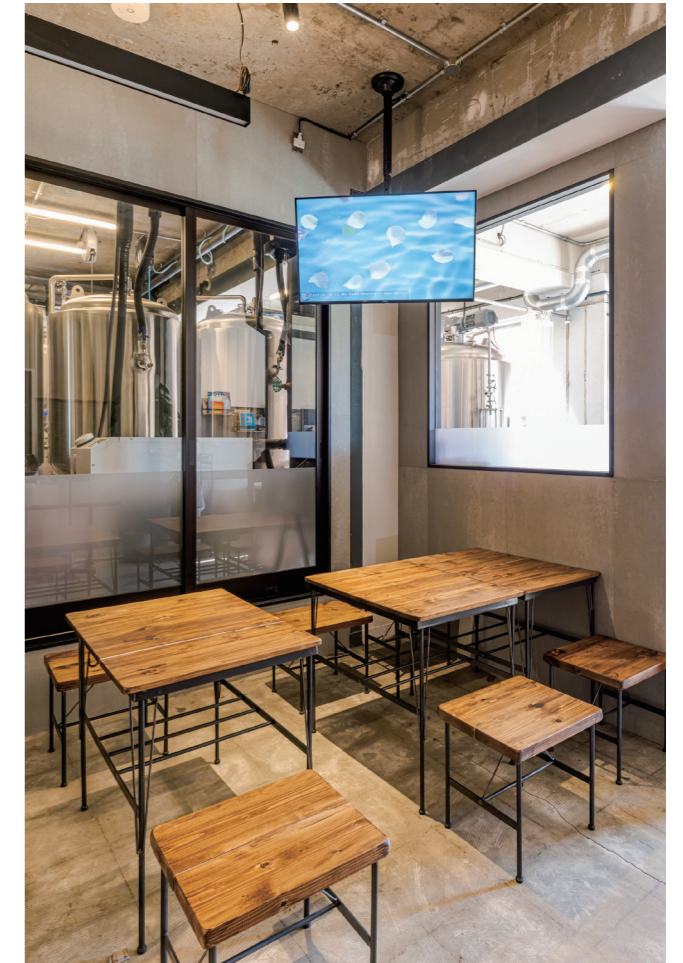
にぎわいを引き立てる、ラフで深い質感

クラフトビールの醸造所を併設したこの店舗では、素材のありのままを活かしたインダストリアルな意匠が求められた。
 壁面に採用された「BEoNA (b2)」は、セメント本来の素朴な質感が、店内のスチール什器やサーバーの金属感と美しく共鳴している。

一枚ごとに異なる濃淡が、広い壁面に心地よいリズムを生み出し、ラフでありながらも洗練された「大人の溜まり場」を演出。
 BEoNAが持つ特有の揺らぎが、醸造所というクラフト感あふれる空間性に寄り添い、深みのある背景を創り出している。



カウンター背面の壁面 / スチールやガラスの質感と共鳴するBEoNA。素材のありのままを活かした表情が、ブルワリーのクラフト感を際立たせる



客席壁面/BEoNAの自然な濃淡が、ラフで気取りのない「溜まり場」を演出する



セメント本来の素朴な表情。BEoNA特有の揺らぎが、空間に深みのある背景を作りだしている

CASE

04 エーアンドエー茨城

所在地 茨城県筑西市
用途 食堂
採用品番 **b3**
薄絹 usuginu

素材の調和がもたらす、すこやかな開放感

工場内のリノベーションにより新設された食堂。社員が心身ともにリフレッシュできる空間を目指し、入口付近の壁面に「BEoNA (b3)」が採用された。食堂の受け渡しエリアには、同じくエーアンドエーマテリアル製品である木目調の内装ボード「アデック木目」を配し、水回りに求められる耐久性と、木の温かみが共存するデザインとしている。

4mmの目透かしで張られたBEoNAの目地底には、目地用テープ「スタンド8B」のグレーを施工。同系色でディテールを整えることで、素材の立体感とシャープなラインを際立たせた。約4mの天井高を活かし、3×6板を縦に2段重ねたダイナミックな壁面は、ダウンライトの光を受けて素地本来の奥行きを映し出し、日々の休憩時間を上質なひとときへと変えている。



4m弱の天井高を活かした壁面構成。3×6板を縦に繋ぐことで、素材の持つ力強さとスケール感を強調している。



BEoNAと「アデック」の調和。コンクリートの質感と柔らかな木目、異なるマテリアルが互いを引き立てる



ダウンライトの光が落ちることでBEoNAの素地の表情が強調され、空間に深い落ち着きを与える



目地底に「スタンド8B(グレー)」を採用。同系色で深みを出した目透かしが、BEoNAの立体感をより鮮明に描き出す。

CASE

05

鎌倉大平山の家

所在地 神奈川県鎌倉市
用途 個人住宅
採用品番 **b3**
薄絹 usuginu
b4
群雲 murakumo



廊下突き当り壁面(b3)/住まいに溶けこむ、安らぎある風合い。木の温かみと美しく調和し、心地よい揺らぎを空間に添える

共有部を一つにつなぐ、シームレスな質感

住宅というプライベートな空間で、コンクリート調の質感をいかに生活になじませるか。ここでは「BEoNA(b3とb4)」が持つ一枚ごとに異なるランダムな色の濃淡を「自然な揺らぎ」として活用している。

横張りしたBEoNAが木のフローリングや家具といった温かみのある素材とも美しく調和。冷たくなりすぎない空間に仕上がっている。
洗練された佇まいの中に、住空間に求められる安らぎと確かな呼吸をもたらしている。



クローゼット壁面(b4)/一枚ごとに異なるランダムな濃淡。自然な表情が、住空間に確かな呼吸をもたらす



居室壁面(b3)/洗練されたBEoNAの佇まい。横張りにすることで色柄がより柔らかく感じられる。冷たくなりすぎない質感が、プライベートな空間を静かに包む